

現職教員を対象とした公開講座のご案内

奈良教育大学 地域連携室では、現職の教員を対象とした公開講座を実施します。奮ってご参加下さい。

趣 旨：① 現職教員と本学教員の距離を縮め、困ったときに相談できるような関係づくりをします。

講義を1時間程度実施した後、30分程度の意見交換会を行います。

② 授業づくりに（直ぐに、あるいは後々）役立つ情報を提供します。

主 催：奈良教育大学 地域連携室

後 援：奈良県教育委員会

場 所：奈良教育大学（奈良市高畑町）・講義棟2階 206教室（講座番号3を除く）

・情報館3階 実習室（講座番号3）

受講料：各500円、定 員：各講座30名

申込方法：本学ホームページのお申し込みフォームからお申込ください。

http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/courseindex/2017/08/post_71.html

（「奈良教育大学 ならやまオープンセミナー」で検索）

申込み期間：講義1～3は10月10日（火）まで、講義4～6は10月17日（火）まで

問い合わせ：奈良教育大学 企画連携課 国際交流・地域連携担当

メール：soumuka@nara-edu.ac.jp 電話番号：0742-27-9108



講座番号	開催日時	講座名・講座概要	講師名・プロフィール
1	10月21日(土) 9時30分 ～11時00分 	【いかにして社会科の授業で「思考力・判断力」を培うか】 新学習指導要領において求められる「深い学び」を実現するためには「思考力・判断力」の育成は必要不可欠であります。社会科の授業においてどのようにして子どもたちの「思考力・判断力」を培うのか皆さんと一緒に考えたいと思います。	【奥田 智（おくだ さとし）】 奈良教育大学大学院教育学研究科 准教授 研究テーマは「知的好奇心を育む社会科教育」「総合的な学習の時間」。教職大学院では、「学校組織とアカウタビリティ」「授業力応用演習」等の授業を担当する。日本大学経済学部卒業後、奈良県立高校教諭、奈良県教育委員会事務局指導主事、課長補佐等を経て現職。奈良県郷土学習推進協議会会長（2017年度）、吉野町行政評価外部評価委員（2017年度）、奈良女子大学中等教育学校関係者評価委員（2017年度）、吉野町教育振興審議会会長（2016～2017年度）、十津川村教育委員会点検・評価者（2016年度）、文部科学省公民科学習指導要領編成協力者（2006～2008年度）、文部科学省教育課程実施状況調査分析委員（2004～2005年度） 主著に『高等学校新学習指導要領の展開公民科編』（明治図書、2010年）、『課題解決力の育成を目指す教育』（ベネッセ文教総研、2000年）、『高等学校「総合的な学習」の運営と実践事例』（学事出版、2000年）など。
2	10月21日(土) 11時20分 ～12時50分 	【「身近な地域」の学習は、もっと面白くなる！】 日本ではすべての学校で「身近な地域」の学習をすることになっています。が、あなたは地域を見る目や地域素材の活かし方に自信をもっていますか？ 本講座では、各自・各校の実践の工夫や悩みを共有するとともに、未来志向での地域の見方や、インターネット・図書館等にある使える道具を紹介します。 いずれの学校種や専門分野の方も歓迎します。	【河本 大地（こうもと だいち）】 奈良教育大学准教授。 専門・関心分野は、地理学、農山村地域研究、観光・地域振興、ESD（持続可能な開発のための教育）など。大学では、「地理学概論」「フィールドワークで地域に学ぶ」等の授業を担当。 広島大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士（文学）。2007年から神戸夙川学院大学観光文化学部にも勤め、2015年から現職。

<p>3</p>	<p>10月21日(土) 13時40分 ～15時10分</p>  <p>(伊藤剛和)</p>  <p>(古田壮宏)</p>	<p>【情報教育と次期学習指導要領 - 児童生徒による ICT 活用を中心に -】</p> <p>次期学習指導要領を踏まえながら、これからの児童生徒に求められる情報活用能力 (ICT 活用スキルや情報モラルも含む) について、一人1台のタブレットと協働学習支援ソフトを使った話し合い活動体験を通して、参加頂く先生方の実践を共有しながら、より発展・推進していくためにはどうすすめていくといいかについて、ご一緒に考える場を持ちたいと思います。</p> <p>本講座をきっかけに、より焦点化した研修や学校支援に繋げていきたいと考えておりますので、みなさまのご参加をお待ちしております。</p>	<p>【伊藤 剛和 / 古田 壮宏】</p> <p>伊藤 剛和 (いとう たけかず) 奈良教育大学 次世代教員養成センター 教授 現在の研究テーマは、教育工学・情報教育・教員の ICT 活用指導力向上など。大学では、「情報機器の操作」「情報メディアの活用」「教師のための情報モラル」等の授業を担当する。</p> <p>古田 壮宏 (ふるた たけひろ) 奈良教育大学 次世代教員養成センター 准教授 現在の研究テーマは、教育工学・防災教育・教理モデルを使った問題解決など。大学では、「情報機器の操作」「情報メディアの活用」「都市防災対策と防災教育」等の授業を担当する。</p>
<p>4</p>	<p>10月28日(土) 9時30分 ～11時00分</p> 	<p>【「言葉による伝え合い」を育む保育者の援助と環境構成】</p> <p>次期「幼稚園教育要領」等では、小学校教育との接続の一層の強化を図るため、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明記されました。本講座では、その姿の中で「言葉による伝え合い」を取り上げ、具体的な保育実践をもとに、子どもの育ちを支える保育者の援助と環境構成について、みなさんと一緒に考えていきます。</p>	<p>【横山 真貴子 (よこやま まきこ)】</p> <p>奈良教育大学教授 専攻は、保育学、発達心理学。博士 (人文科学)。現在の研究テーマは、子どもの発達と絵本、保幼小接続。大学では「保育内容研究」「幼児と言葉」等の授業を担当する。お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了後、奈良教育大学助教授、同准教授を経て現職。中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会幼児教育部会委員 (2015～2016年)、内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂に関する検討会」委員 (2016年)。主著に『子どもの育ちと「ことば」』(保育出版社、2010年) (編著) など。</p>
<p>5</p>	<p>10月28日(土) 11時20分 ～12時50分</p> 	<p>【主体的な学びを引き出す人間関係づくり】</p> <p>次期学習指導要領では、子どもが他者との対話の中でいかに主体的に、深く学ぶかが教育の力点としてさらに強調されます。本講座では、人間関係をベースとした学びの基本的な見方について心理学の視点から理解し、参加者同士で日々の実践について意見交流を行います。</p>	<p>【中山 留美子 (なかやま るみこ)】</p> <p>奈良教育大学准教授 専攻は教育心理学、発達心理学。現在の研究テーマは青年期の人格発達、関わりを通じた学び (協同学習、PBL) がもたらす心理的影響。大学では「生徒指導・教育相談 (初等)」「発達心理学」等の授業を担当する。名古屋大学教育発達科学研究科博士後期課程修了。修了後、三重大学講師を経て現職。</p>
<p>6</p>	<p>10月28日(土) 13時40分 ～15時10分</p> 	<p>【小学校算数科における数学的活動とその評価について】</p> <p>学習指導要領が改訂に伴い、『見方・考え方』が一層重視されます。小学校算数科において、「数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力をどのように育成すべきか」について、お話しするとともに、「子どもたちが主体的に学び、得た知識を活用・探究できるような授業展開やその評価方法」について、みなさんと一緒に考えていきましょう。</p>	<p>【中澤 隆志 (なかざわ たかし)】</p> <p>奈良教育大学大学院教育学研究科准教授。 専攻は、教育課程、算数・数学教授法。現在の研究テーマは、「算数・数学教育に係る教員の指導力向上」。大学では、「授業設計と評価」「教育課程の開発と改善」「学校実践省察」等の授業を担当する。奈良県立高等学校教諭、奈良県教育委員会指導主事を経て現職。</p>

